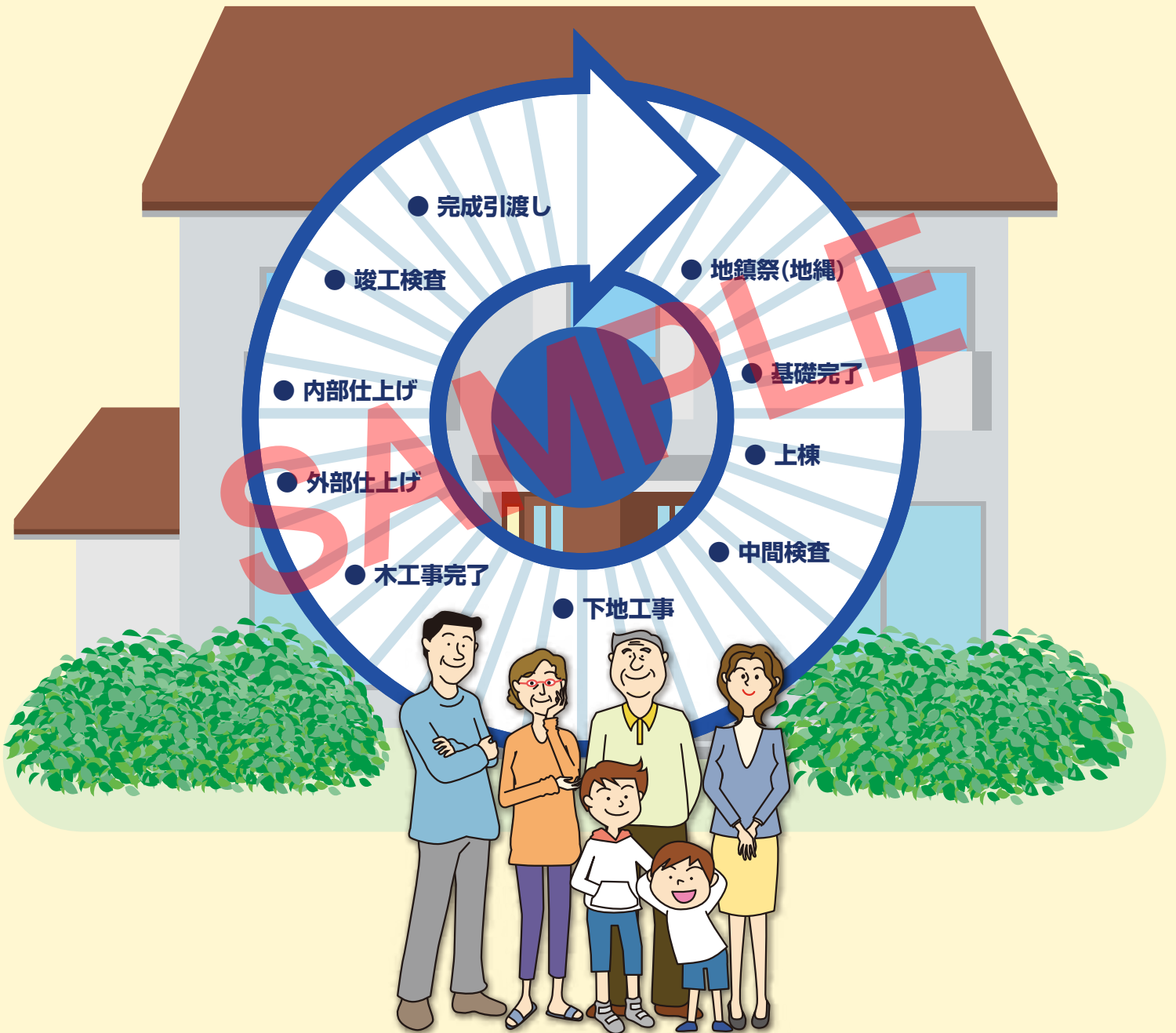


お施主様およびご近隣の皆様へ

工事着工のごあいさつ

～現場のマナーと安全管理～

夢の住まいが、いよいよ現実に。お施主様の住まいを確かなものとするために、私たちは真心こめて、大切に施工させていただきます。そんな、私たちが心がけるべきことのひとつひとつを、この一冊にまとめました。ぜひ、工事中の私たちの仕事ぶりもご覧ください。



マナー

- ①ご挨拶
- ②お隣様に対して

現場が清潔で、しかもそこに働く人間が快活なら、確かな仕事ができている証拠。私たちは笑顔でのご挨拶など、基本的なマナーを守ります。

1 ご挨拶



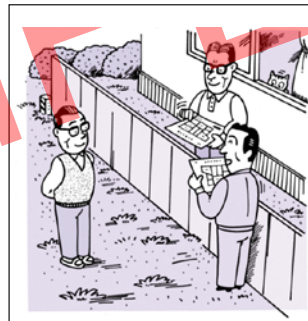
ご近隣の人に出会った時は、笑顔でご挨拶します。

2 お隣様に対して



隣地に入る必要のある時は事前に許可をいただきます。

SAMI



隣地との境界部分は、お隣様立ち会いのもとで工事します。

お隣様の水道をお借りする時は、事前に許可をいただきます。



溝など隣近所との共有部分はきれいに保ちます。

マナー

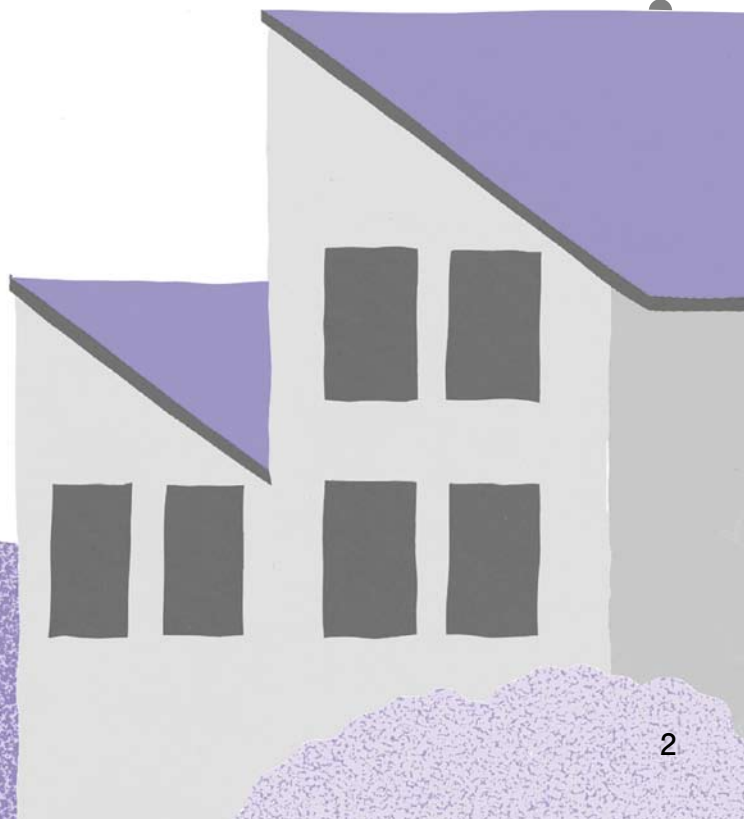
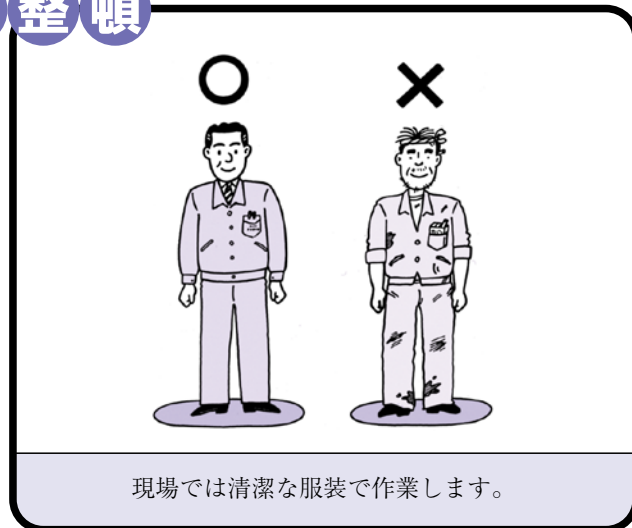
③整理整頓

工事中とはいえ、
ご近隣の皆様にとっては、
そこは「生活の場」。
整理整頓に努め、周辺環境を守ります。

3 整理整頓



つねに清掃を心がけ、近所の環境美化に努めます。



マナー

- ④ 仕事内容
- ⑤ 気配り

下地材の取扱いなど、完成してしまえば気がつかないことこそ、意外と、大切です。信頼して任せていただける仕事内容や気配りを維持します。

4 仕事内容



下地材の取り扱いにも充分配慮します。

5 気配り



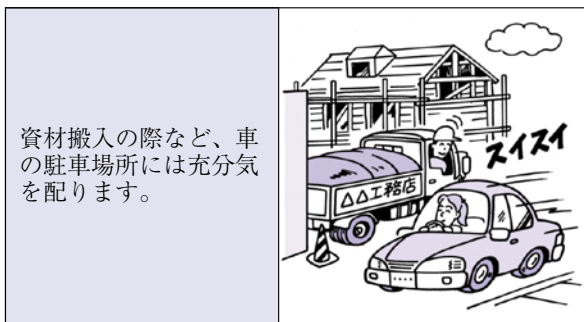
スリッパや泥落しを用意し、現場の養生に努めます。



ラジオをかけながらの作業は、できるだけ避けます。



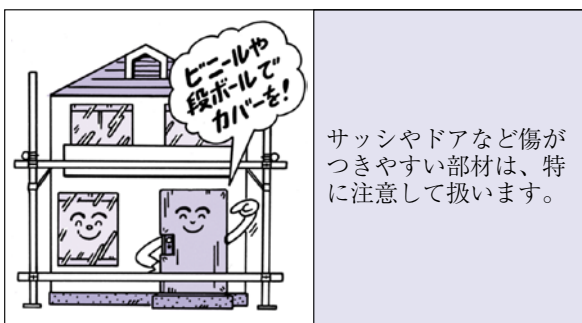
手直し工事の際は、養生材を準備して傷などをつけないようにします。



資材搬入の際など、車の駐車場所には充分気を配ります。



増改築の際は、お施主様の植木や石の養生にも配慮します。



サッシやドアなど傷がつきやすい部材は、特に注意して扱います。



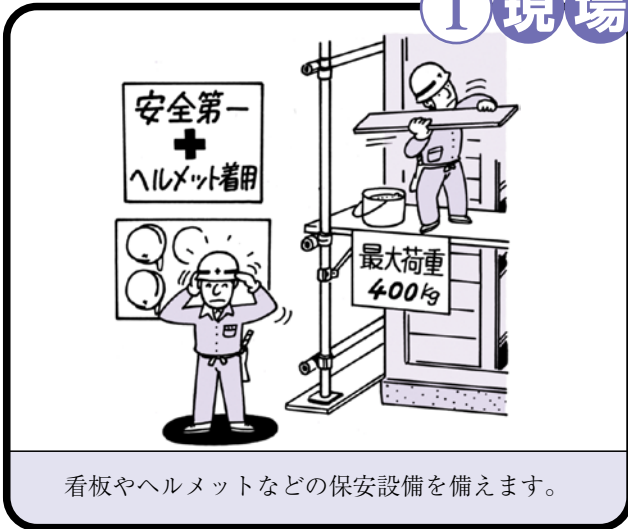
ご近隣への配慮を考えて、夜遅くなどに作業しないようにします。

安全管理

①現場での保安

工事現場は、私たちが働かせていただく、大切な仕事場です。だから、事故の防止には、あらゆるシーンや可能性を想定して、十二分に安全確認を行います。

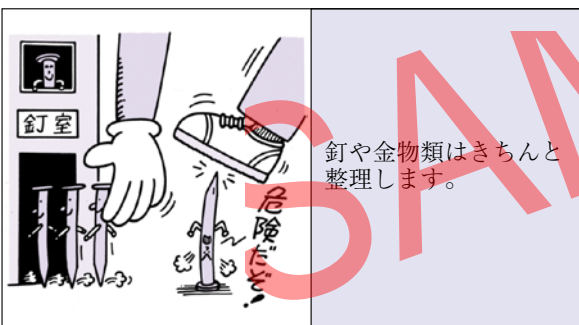
①現場での保安



看板やヘルメットなどの保安設備を備えます。



履物は、作業内容に適したものを履きます。



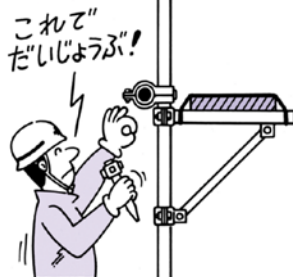
釘や金物類はきちんと整理します。



梯子の立て掛け角度に注意します。



足場・足場板・足場材の継ぎ手の安全性に配慮します。



これで"だいじょうぶ!"

安全管理

- ② 防火
- ③ 外部への保安

現場がもとになって
ご近隣の皆様に迷惑をかけないように、
防火や外部への保安については、
細心の注意でのぞみます。

② 防火



吸い殻入れを用意し、一定の場所で喫煙します。

③ 外部への保安



現場入口の安全対策には充分考慮します。



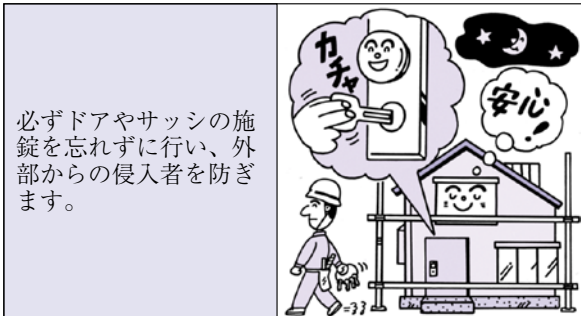
防火については、つねに万全体制でのぞみます。



帰り際には現場の安全確認を必ず行い、事故防止に努めます。



焚火はできるだけ行わないよう心がけます。



必ずドアやサッシの施錠を忘れずに行い、外部からの侵入者を防ぎます。



現場内でタコ足配線などしないよう、電気を取扱いに注意します。

安全管理

④部材資材

お施主様からお預かりした大切な建物ですから、ひとつひとつの資材も大切に扱いたい。もちろん、資材の置き方にも充分配慮して、事故防止にも努めます。

④部材資材



<現場を担当させて頂く協力会社です。どうぞよろしくお願いいたします。>

